

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	社会福祉法人 日の出福祉会	代表者	中田 喜久
事業所名	小規模多機能型居宅介護事業所のべ	管理者	山口 徳子

法人・事業所の特徴	法人の特徴:高齢者福祉事業だけではなく保育事業も展開しているところです。保育事業が法人内にあることで、子育て世代の職員が子どもを預けながら安心して働けるという環境づくりがされています。 事業所の特徴:食事を手作りし利用される方に調理に参加いただいています。通い、泊まり、訪問の小規模機能としては訪問を月に700件ほど行っています。敷地内に特養・グループホームが併設しております。
-----------	--

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 人	0 人	3 人	0 人	0 人	0 人	0 人	2 人	0 人	4 人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	ミーティング内容を個別カンファレンス中心に変更し個別課題に取り組みます。	個別カンファレンスを実施でき、参加できない職員についてはラインワークスで共有できました。	常勤職員のみ意見ではなく全職員参加できるようなミーティングを実施するのは難しいがミーティング内容が共有できる仕組みが出来れば良い	全職員が共有できる仕組みについて継続を図ります。多くの職員が参加ができるよう業務を見直します。
B. 事業所のしつらえ・環境	事業所周りを整え地域の方に分かりやすい事業所作りをしていきます。	事業所周りの木を伐採し施設が見えやすくわかりやすく整えました。	道路沿いの木を伐採して外から見やすくなっている。	道路沿いに花を植え事業所に入りやすい環境を整えます。
C. 事業所と地域のかかわり	コロナウィルス感染が落ち着き次第、地域のサロンの参加や事業所見学会の再開をしたいと思えます。	業務の都合上サロンの参加について職員を確保できませんでした。	事業所が地域の方が気軽に介護相談できる場になって欲しい。	地域のサロンや事業所見学会を通してのべの発信を行い介護相談ができる場として整えます。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	コロナ感染が落ち着き次第地域活動に参加していきます。	・地域に出向き、介護予防やミニ講座を予定していましたが中止になりました。	地域の祭りや防災訓練にも参加して欲しい。	地域の祭りや防災訓練に参加していきます。
E. 運営推進会議を活かした取組み	コロナ感染が落ち着き次第事業所運営を発信していきます。	・運営推進会議を通して事業所の取組みを発信できた。	運営推進会議の場で「サービス評価」の説明を具体的に実施して欲しい。	運営推進会議の場で「サービス評価」の説明を具体的に実施します。
F. 事業所の防災・災害対策	コロナ感染が落ち着き次第事業所の避難訓練に地域住民に参加して頂きます。事業所は地域の防災訓練に参加し相互で協働体制が図れるように努めます。	・事業所内で消防訓練等は出来ましたが地域に向けて発信できず。	消防訓練の実施の報告を運営推進会議で報告して欲しい。	運営推進会議の時に消防訓練の実施日を報告します。